

特定行政庁様

定期報告対象外理由届

定期報告案内通知のありました当該建築物等については、定期報告の対象外と考えられますので、下記のとおり建築物の現況を届け出ます。

1	コード番号	—										
	建築物名称						建築物用途					
	建築物所在地											
2	対象外項目	・建築物			・建築設備			・防火設備				
3	建築物の規模	用途	地階	1階	2階	3階	4階	5階	6階以上	合計		
		合計										
4	定期報告対象建築設備の有無	機械式換気設備（特定防火設備を設けたもの）						有	・	無		
		機械式排煙設備						有	・	無		
		非常用の照明装置（蓄電池内蔵型は除く）						有	・	無		
5	改築の実施	検査済証	平成	年	月	日	第	号				
6	所有者の変更	新所有者名										
		連絡先										
7	営業の休止等	休止・廃業年月日		平成	年	月	日					
		再開予定	有・無	再開予定時期		平成	年	月	頃			
8	コード番号重複	重複しているコード番号		—		—		—				
9	その他											

上記のとおり、相違ありません。

平成 年 月 日

(記入者) 住所

所属

氏名

電話

_____ 印

受付欄

※ 裏面の記入方法に従い、記入して下さい。

※ 対象外となることが確認できる図面等を添付してください。

定期報告対象外理由届の提出について

同封しております冊子「特定建築物等の定期報告書の提出について」を参照していただき、定期報告書提出のご案内をいたしました、あなたの所有・管理されている建築物・建築設備が定期報告の対象外であると思われる場合には、裏面の設問に回答の上、兵庫県建築防災センターあて郵送にて返送して下さい。

(兵庫県建築防災センターで取りまとめて、各特定行政庁へ送ります。)

なお、対象外か否かについては、本届を審査の上で決定しますが、内容について、後日、お問い合わせすることがございますので、その際はご協力をお願いします。

【記入方法】

(設問1)

コード番号 「平成〇〇年度 特定建築物等（建築設備）の定期報告書の提出について（通知）」に記載されているコード番号を記入して下さい。

建築物用途 当該建築物の用途を記入して下さい。

建築物名称 当該建築物の名称を記入して下さい。

建築物所在地 当該建築物の所在地を記入して下さい。

(設問2)

対象外項目 対象外となる項目を「建築物」「建築設備」「防火設備」の3種類の中から選び、○で囲んで下さい。

(設問3)

建築物の規模 各階ごとに、用途別の床面積を記入して下さい。

(設問4)

設備の有無 定期報告対象の建築設備について、「有」「無」のいずれかを○で囲んで下さい。

(設問5)

改築の実施 最近、改築（一部の改築を除く。）を実施した場合には、各特定行政庁等の交付する検査済証の年月日及び番号を記入して下さい。

(設問6)

所有者の変更 建築物の転売、譲渡等により建築物の所有者が変わった場合には、新しい所有者の方をお教え下さい。

(設問7)

営業の休止等 現在、営業を休止されている場合には、再開予定時期等をお知らせ下さい。

(設問8)

コード番号重複 「定期報告の案内が重複して届いた」「建築物の用途が複数あり、別の用途の建築物として報告をしている。（1つの建築物の中で旅館と物販店を経営しており、建築物全体を旅館として他の年度に報告をしているが、物販店として定期報告の案内が届いた等）」等の場合には、既に報告している建築物のコード番号を記入して下さい。

(設問9)

その他 その他、上記以外に特別な理由がある場合には、具体的に記入して下さい。

（設問1）、（設問2）、理由届末尾の（記入者）の住所・所属・氏名及び（電話番号）は、必ず記入して下さい。この四項目について、記入もれ及び押印もれのあるものは、対象外処理ができません。注意して下さい。

【提出先】 兵庫県建築防災センター

〒651-0088 兵庫県神戸市中央区小野柄通 7-1-1 日本生命三宮駅前ビル7階

(公財)兵庫県住宅建築総合センター 内

URL <http://www.hyogo-jkc.or.jp>